

はばたき

2022. No. 96

新たな歩み、期待を胸に



落ち着いて

理事長 千日 清

今年の季節の変わり目は、寒さから春へ、そして過ごしやすい四月を味わいながら梅雨入りへ、季節をはつきりと感ずることができ、陽気は生活のリズムや仕事にも反映され、とても良いことである。寒い季節には寒い、春は爛漫と、判りやすくなつては。酷暑を思い浮かべると今年も乗り切ることができると不安でもありません。

理事会においての議論。利用者の高齢化と、障害特性の多様化に関する話が多い。当然これまでに暮らしの環境を個々人の動きや弱さに対応できるものへと転換してきたが、老いの勢いは想像を超える。利用者の状態に適宜合わせながら暮らしを整えることが私達の仕事であり、環境に利

用者をあてはめるものではない。最高齢の八七歳を筆頭に、八十歳を超える方は既に五人。六五歳ともなればそれはそれは多くなつてきている。ゆとりある空間も欲しいし、ゆつくりとした時間を味わうことも大切。二人部屋も残念ながら依然と存在し、早く解決したい。

法人は障害があつても「働く、社会参加」を大きな目的として来たと、理事会の議論は続く。勿論忘れてはいない：つもりであるが、この言葉は、きつと目を覚ましてくれた意見でもあつた。

新年度開始の四月以降、これまでの課題を引つ下げ生活や活動の見直しを進めている。

利用者と職員の多くに、不安やこれでいいのか？という表情もあ

ることは確か。必ず整えられていくと思う。そして就労活動における役割もより活発にしていきたい。懸命に働く、静かに暮らす、手伝つてもらえる、喜び楽しむ、自然に流れるようにできたらいいな。

表紙を飾るのは新任職員達。全国から集まつてくれた。不安と期待をしかと受け止め、次世代の育成に一同努力していこう。

昨年一昨年に採用した職員達の話にも是非触れておきたい。皆さんのお手元に当時のバックナンバーはおありでしょうか？それが本当に遅くなつていくのです。これが順繰りに引き継がれながら今日に至つていくのです。

先日行われた園内イベントでも、ルパン三世バージョンであらすじから物創りまで素晴らしい出来栄え。多くの方にご覧いただきたかった。私の大きな自慢でした。

船橋地区では五月末職員歓迎会、慰労会を行います。六十人程度の集まりを三セット、各事業所

でも現在企画中。年中行事であつた職員旅行や会合を今年こそは実施しなければ。利用者と家族の旅行も全く行われていないし、利用者からのリクエストに応えられていないことの寂しさが募ります。

設立五十年を経過しました。記念誌の作成準備委員会を立ち上げ、出来上りを楽しみにしているところ。これからの半世紀はどのように展開されていくのか、楽しみであるし、謙虚に夢を追いかけていかなければ。

こつこつと積み上げながら、その時に必要な求められる仕事をしていくこと、これから必要とされるであろうことへの準備を怠らないことを、いつもいつも語っているけれど、真に理解した仕事にしていくなには大いに職員と語っていかなければならない大切なこと。

山積みになつていく課題があることに感謝し、喜び、悩みながら四月を開始した。

勤続二十一年を迎えて

管理課次長 市川 浩之

大学を卒業して、サラリーマンを7年間経験し、大久保学園に三十歳で入職、勤続二十一年を迎えました。まさか福祉の仕事をするとは思いませんでしたので初めは戸惑いながら仕事をしていました。

すべての上司、先輩、同僚、後輩と様々な人の助けがあつて今の自分があるということを強く感じています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私は利用者さんと保護者の方が安心して生活ができるようにサポートをしていくことをモットーとして仕事に取り組んできました。福祉施設で働く職員として、利用者さんの喜んでる姿、笑顔を見ることが一番嬉しいことです。

今までに楽しかったこと、苦しかったこと、いろいろなことを経験しましたが、今となつては、大久保学園に入職して本当に良かったです。これからいろいろな経験ができることに喜びを感じて仕事に励んでいきたいと思っています。

新年度を迎えて

本館リーダー 加賀美 裕

大久保学園は今年で創立五十周年を迎える事になりました。今年度は、利用者の状態像の変化に合わせて日中活動の見直しを図っております。従来取り組んでいた作業活動を継続する利用者もいる一方で、様々な文化的・余暇的な活動も取り入れながら、一人ひとりがより充実した生活や時間を過ごせる活動内容が考えられればと思っております。

例えば、近年取り組み始めた身体を動かす活動では、手足等を動かす事で筋力低下が抑えられるなど怪我を予防する効果があるようです。この活動では、なるべく多くの方が楽しんで活動に参加して頂けるように、なじみのある民謡や童謡を使い、またテンポの良い音楽に合わせて身体が動かせるような工夫も行っております。

参加された利用者の中には、音楽が流れると体を揺らしながら元気よく歌い出す方など、楽しむ方法も人それぞれにあり、その中でも一番重要なのはご本人が楽しめるという事だと考えております。他にもボール遊びやレクリエーション、女性ならネイルなど幅広い活動を通して利用者さんの好きな事を見出しているところで、利用者も職員も新たな気付きを得る日々です。

この取り組みはまだまだ始まったばかりで、多くの課題もあり試行錯誤の日々です。利用者一人ひとりが豊かな生活、時間を過ごせるように職員一丸となつて皆さんに合った新しい日課を追及していきたいと思っております。

新任職員紹介

大久保学園



栃木 瞳

ことに悩む日々が続いておりますが、利用者の皆さんと関わる中で、私の挨拶に対して笑顔で応えて下さることも多くなり、嬉しさが増えてきました。その嬉しさや喜びをより増やしていきたいように、周りにいる利用者や職員の皆さんから多くを学び、悩むだけでなく楽しみながら信頼関係が築けるように努力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



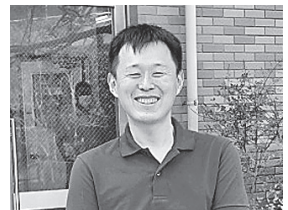
令和4年4月から大久保学園に配属となりました、栃木瞳と申します。支援員として勤めて約1ヶ月が経ち、様々な

ふなばし工房



山口 幹雄

していました。趣味は歴史上の史跡を探索し、温泉を兼ねて旅行することです。コロナが落ち着いたら、思う存分に旅行を楽しみたいです。福祉施設には8年間ほど生活介護支援の仕事に従事していました。生産活動及び就労支援の分野は初めてですが、早く一人前になれるように頑張っていきたいです。ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



このたび、ふなばし工房の室内班に配属になりました。出身は千葉県の上田市で、昨年度までは長野県上田市で生活を

光風みどり園



熊田 早希

日が浅いながらも利用者の皆さんや職員の皆さんに支えて頂き、実りの多い日々を過ごしております。まだ至らないことも多いかと存じますが、一日でも早く業務に慣れて利用者の皆さんにとって心地よい環境をつくれるよう邁進してまいります。



4月より大久保学園の一員となりました、熊田早希と申します。現在は光風みどり園にて支援員をしています。

令和4年度

みどり園



桑田 雪乃

これから一生懸命勉強し利用者さんが楽しく過ごせるように頑張りますので宜しくお願い致します。



はじめまして、今年度よりみどり園で働かせていただくことになりました桑田雪乃と申します。

みどり園に初めて見学に來させていただいた時、園内に流れる時間がとてもゆったりと流れていて支援員さんと利用者さんとの信頼関係の元お仕事が成り立っている部分があると知ることができ、もっとみどり園を知りたい、利用者さんを知りたいと思いました。

代宿地域支援センター



堀田 千尋

働き始めてから一ヶ月程が経ちますが、まだまだ覚える事など沢山あり、皆様に助けていただく事やご迷惑をお掛けすることが多くあります。そんな私ですが、利用者さんやそのご家族からも信頼されるような職員になれるよう、精一杯励んでいきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願い致します。



令和4年4月より、大久保学園代宿地域支援センターで働かせていただくことになりました堀田千尋と申します。

梨香園



曾根 明美

にはご迷惑をおかけしておりますが、利用者さんと向き合っていく時間を大切に、一人一人に寄り添える支援員を目指します。未熟ではありますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



4月より梨香園に配属となりました、曾根明美と申します。一日が怒涛の勢いで過ぎていき、諸先輩方や利用者の皆さん

お楽しみ会



新任職員と利用者との交流を目的として、5月5日にお楽しみ会を実施しました。テーマは『ルパン三世』に設定し、新任職員の自己紹介や毎年恒例の新任借り物競争、ショーなどを行いました。毎年二年目職員が企画・運営をしているこのお楽しみ会は、私にとっても楽しみであり不安でもありました。利用者の方がどのようなか、装飾やレクリエーションの内容を同期の職員と試行錯誤し、お楽しみ会の運営経験のある先輩方にも意見を聞きながら、企画を練って参りました。

良いものを作りたいからこそ出てくる意見の違いも時にはありました。皆で話し合いながら進めていく事が出来たと思います。当日は利用者の「楽しかった」「面白かった」という声や笑顔も多く見られ、ここまでやって良かったなと改めて思いました。これから様々な行事に関わらせて頂く機会があると思いますので、この気持ちを忘れず次の行事にも積極的に参加したいと思えます。(野倉)

サクシード

令和3年12月7日に行われた第30回さわやか芸能発表会にて最優秀賞を受賞しましたのでご報告させて頂きました。

今回、多くの方が知って一緒に踊って楽しめるのではないかと、いう所から大久保学園サクシードバードジョンで「Y M C A」を演奏しました。

練習では、タンバリンの振り付けで向きが違っていたり、声を出すタイミングや、大太鼓を打つタイミングがずれてしまったりと難しい事もありました。

それでも笑顔で練習に取り組み楽しそうな様子も見受けられ、その結果が今回の最優秀賞に繋がったのだと思います。毎月行う練習も限られ出演もこの1・2年で学園祭だけでしたが、久しぶりの観客を前にした演奏でも臆することなく、若干の緊張はありつつもサクシードらしい演奏が出来たと思います。

感染症が蔓延している中での参加となりましたが、感染者もなく無事に終えた事は学園全体で協力し合えた結果でもあると思います。

大勢で音楽を楽しむ機会も減っておりますが、サクシードとしては今後も演奏を続け、皆様の協力のもと一緒に楽しく音楽が提供出来たらと思っています。(近)



寄付金

令和三年十二月一日
〜令和四年一月十七日

〔後援会〕

永田笑子・鶴田まさ・田中スズ子
小林英三・中原有希・戸倉陽子
岡田江美・豊田美紀・上條茂樹
日下部弘子・長泉 顕
岩下てい子・中田奈津子
篠 義一・柏木幹男・長谷部健二
金成幸一・柏崎安孝・大澤征一
伊藤正春・安部明寛・関澄ちとせ
高安裕子・並木一夫

〔一般〕

鎌ヶ谷市社会福祉協議会
青木富美子
(株)イトーヨーカドー我孫子店
大久保学園保護者会
大久保学園後援会
岡田雅弘

(敬称略)

ありがとうございました

はばたき

二〇二二 九六号

発行/令和四年六月
発行所/社会福祉法人 大久保学園
TEL 〇四七(四五七)二四六二
FAX 〇四七(四五七)四〇六九
URL <http://www.okubogakuen.or.jp>
Mail shienka@okubogakuen.or.jp
編集/大久保学園 広報委員会
表題書/中原 強